

# 御前山ビオトープ通信

平成29年11月24日

## 第53号

発行： 御前山ダム環境センター  
 メール：[denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)  
 ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



### 目次

1. 平成29年第2回ビオトープ育成活動
2. 秋の自然観察会（御前山中1年生）
3. ヤマサクラの記念植栽（御前山小6年生）

### 【案内図】



## 1. 平成29年第2回ビオトープ育成活動

平成29年11月1日（水）本年度第2回目のビオトープ育成活動を行いました。定期的なビオトープ管理作業に加えて、秋季はダム湖周辺を歩く会、自然観察会、山桜の植樹などが行われることから、子供達を中心としたこのような活動が安全安心に行われるように環境整備を図るものです。

10月は23日（月）に台風21号が、29日（日）は台風22号が関東を通過し、暴風雨による被災などの影響を心配しました。

活動日は幸い晴天に恵まれ、朝一番で現地を確認すると、最も心配した取水口は問題なく安心しました。



山桜植栽予定地の整備



取水口周辺の石積

取水口が何度も崩壊して取水困難になったことから、数年前からボランティア活動による直営作業で溪流に適したチロル式取水口に整備した効果が発揮できたようです。

9時半には30数名のボランティアの皆さんが集合し、青山会長挨拶、NPOから作業内容と分担の説明があり、さっそく作業を始めました。

今回は10名ほどのグループに別れてダム湖周辺の桜山大橋左岸広場の山桜植栽予定地の整備活動を行いました。橋の右岸側は数年前に山桜植栽を終えているので、両方を併せるとかなりまとまった山桜の森が形成されることになり、将来が楽しみです。

ビオトープは子供たちの自然観察会の危険性がないように畦道など歩く箇所を中心として草刈りを行いました。林間のフタバアオイやイヌショウマ周辺の雑木なども整理しました。

最後は被害がなかったとはいえ、河川内の河床低下が心配な状況であったことから、人海戦術で取水口周辺の石積作業

を行いました。

ちょうどお昼になり、婦人グループ手作りの昼食が到着しました。おにぎり、汁物、漬物などが用意され、さわやかな環境でおいしくいただきました。

合間に、今回初参加の人も多かったことから、NPO からパンフレットを使ってビオトープの経緯や周辺の植物などについてワンポイント説明を行いました。また事業所から秋の御前山ダム解放の案内などがありました。

最後に御前山ダム環境センターから地域貢献参加証明書が手渡されました。また地元から白菜、柚、大根などの野菜や那珂川に遡上してきた鮭の切り身などがお土産として用意され、皆さん喜んで持ち帰っていただきました。

ダム湖周辺の紅葉と、ちょうど台風の大雨の後でダム洪水吐から迫力のある景観が

楽しめました。

## 2. 秋の自然観察会（御前山中1年生）

11月7日（火）御前山中学校の自然観察会を行いました。今回も説明指導は廣瀬先生にお願いしました。全体が4グループに分かれてそれぞれの課題（キノコ探しやマイマイ探しなど）に取り組みました。

最初は恥ずかしがって遠慮がちだったグループもありましたが次第に解れて友達同士で楽しそうに話しながら取り組んでいました。

採取した生物の中には生息数が急激に減少しているツチガエルや森林の安定性が高いところに生息するカマドウマなど、この時期でもたくさんの種類を採取することができました。子供

たちも「楽しかった！」「よく見るといろいろな生き物がいるということが分かった。」と話してくれました。

## 3. ヤマザクラ記念植栽（御前山小6年生）

11月21日（火）、生徒24名、保護者8名、先生3名と那珂川沿岸農業水利事業所より3名、会員14名で計25本のヤマザクラを植栽しました。今年は保護者にも参加をお願いしたところ8名の方が参加してくれ、子供と一緒に協力しながら植栽していました。子供が用意していた名前プレートに保護者の方も名前を記入してもらい記念撮影をしていました。植栽したことを思い出してもらい、友達同士や家族で見に来てもらうようお願いしました。

紅葉のダム湖周辺



迫力ある洪水吐



先生の説明に興味深々



ダム湖周辺の水辺に植栽

